

地域経済の活性化、雇用の確保、高齢社会の安心を実現!

今日の直面する歴史的混乱とも言える様々な危機は、国際社会にあつて、グローバルリズムとナショナルリズムの対立という構図が各地区において顕在化しております。四半世紀前、東西冷戦が終幕し自由主義陣営による新たな世界秩序が予感され、米国による一極支配の様相が見えかかりました。結果的には民族・宗教を背景にした紛争が多発し、加えて中国の急速な台頭によってパワーバランスが不安定化し、昨年オバマ大統領が「アメリカは世界の警察官の役割を終える」旨の発言は、世界の法と秩序に大きな衝撃を与えました。

そうした状況を踏まえ、我が国は北東アジアにおけるリバランスをめざし、新たな安全保障政策の造形に向けてスタートを切りました。

そうした視点から、今日の状況を世界情勢の無極化、あるいは世界内戦と指摘する論者も多く、世界は新たな流動化の時代に突入したと言つても過言ではないでしょう。一方、経済面ではグローバルリズムと新自由主義の負の課題として先進国間に格差問題という共通の深刻な課題が提示され、新興国も同様であります。

歴史的経過を思えば、日本における中央と地方、各個人の所得の格差問題も多面的な分析なくして本質的な解決策は、困難とされます。

従つて政治の最大の要諦は中間層の拡大であり、それが政治の安定の基本であります。

一方、IT時代における根源的危険は、大衆社会化状況や情報化社会の中で、自己価値判断の喪失と衆愚化であり、次なる時代における国民のため、の経済社会はどうあるべきか、ポスト近代の論議とともに21世紀の新しい資本主義のモデルの構築が必然性を帯びてくる中、政治の果たすべき責務は極めて重大であります。

日本において、さらに重要な視点は急速な人口減少と生産年齢人口の急激な減少問題であり、このような俯瞰的認識のもと、県政は正しい指針の上に立ち、時代に対する明快な理念と戦略的思考を持ったシステムとして、長野県政の構想力が求められております。私も身を粉にして事を成す政治を目指し、新しい歴史のうねりを重く認識し、全力を傾注する所存であります。

長野県議会議員
自由民主党県議団
団長 本郷一彦

本郷一彦は全力で課題解決に取り組めます!



乗鞍高原開山祭に出席



中部縦貫道・国道158号のバイパストンネル工事に本年度から入ることを説明



特殊詐欺非常事態宣言の取り組み徹底について知事に申し入れする



知事と各派代表者との打ち合わせ会議にて県政課題につき提言する



地元白金町運動会にてスピーチ

県政主要課題

- ・ 経済成長戦略による新しい産業創出へ
- ・ 県財政の健全化
- ・ 中小企業支援対策
- ・ 雇用対策に積極的に取り組む
- ・ 農業の振興
- ・ 商店街の活性化
- ・ 観光立県長野の再興
- ・ 県立4年制大学問題
- ・ 地域の医療を守るため医療制度の充実
- ・ 医師看護職員の確保
- ・ 高齢福祉政策の充実
- ・ 障害者の自律支援
- ・ 少子化対策・子育て支援
- ・ 公共交通対策
- ・ 地球温暖化対策

松本市政主要課題

- ・ 商店街の活性化・中小小売業の振興商店街の活性化・中小小売業の振興・大型店問題
- ・ 健康医療産業の創出・誘致
- ・ 農業の再生と新たな振興策
- ・ 信州まつもとと空港の活性化
- ・ JR中央東線の充実
- ・ 中部縦貫自動車道及び国道158号の整備促進
- ・ 国道143号会吉地区の工事着工
- ・ 国道19号の松本拡幅の整備促進
- ・ 地域公共交通の活性化
- ・ サイトウキネンフェスティバル松本の充実
- ・ 上高地諸課題への対応
- ・ 防災体制の強化
- ・ 福祉施設の充実
- ・ 松本山雅のサポート
- ・ 自然エネルギーの普及拡大
- ・ JR南松本南側踏切の立体化